



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3059 URL http://company.hiraki.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,012	4.3	314	87.9	274	240.6	157	285.4
27年3月期第2四半期	8,644	△10.2	167	△29.3	80	△69.6	40	△74.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 20百万円(△79.4%) 27年3月期第2四半期 100百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	32 27	—
27年3月期第2四半期	8 36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	18,318	4,854	26.5
27年3月期	17,716	4,882	27.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,854百万円 27年3月期 4,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
28年3月期	—	10 00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	6.7	650	10.5	550	11.2	300	33.5	61 59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項、(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	5,155,600株	27年3月期	5,155,600株
28年3月期2Q	284,630株	27年3月期	284,630株
28年3月期2Q	4,870,970株	27年3月期2Q	4,880,970株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、設備投資や雇用環境の改善がみられる中、緩やかな回復基調が続いておりますが、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念から先行きに不透明感が強まっております。また、消費動向についても消費税増税による個人消費への影響の長期化や円安に伴う物価の上昇もあり、引き続き厳しい状況が続いております。

靴業界におきましては、カジュアル化の傾向が一層強くなり、婦人カテゴリーを中心に履き心地を追求したスニーカーテイスト商品の需要増加が鮮明になりつつあります。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に継続して取り組み、事業展開を進めてまいりました。

「商品力の強化」につきましては、引き続き海外において新規工場の開拓および育成に取り組むとともに、9月には商品の企画開発から販売までの迅速化を図るため、組織の一部変更を行いました。また、「現場力の強化」としましては、当社の認知度向上を目指して広告宣伝を強化するとともに、伸張著しいスマートフォン向けのサイトをリニューアルするなどWEBへの対応、そしてお客様意見の活用によるサービス改善体制を構築しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は90億1千2百万円(前年同四半期比4.3%増)と増収となりました。利益面につきましては、当第2四半期連結累計期間における営業利益は3億1千4百万円(前年同四半期比87.9%増)と増益となりました。経常利益は、為替差損益などの良化により2億7千4百万円(前年同四半期比240.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億5千7百万円(前年同四半期比285.4%増)と増益となりました。

当社グループの報告セグメントの当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

#### ① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、当社で最も顧客構成比の高い関東圏を含め、1道15都県にテレビCM放映エリアを拡大するとともに、カタログ・チラシ配布等メディアミックスを採用することにより認知度が向上し、WEB経由、特にスマートフォンからの受注増、ならびに前期の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動からの回復により、売上高は43億8千7百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。利益面では、物流業務の効率化等の経費削減に取り組ましましたが、新規顧客獲得に係るテレビCM等広告宣伝費の先行投入の結果、セグメント利益(営業利益)は3億8千2百万円(前年同四半期比12.8%減)となり増収減益の結果となりました。

#### ② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、「日本最大級の靴売場」「圧倒的な地域一番店の靴売場」を旗印に、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとしての存在感を発揮すべく集客力の向上に取り組んだ結果、売上高は42億5千7百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。利益面では、売上高の増加に加え、「仕入先施策の強化」および「自社開発商品(PB商品)の拡販」などによる粗利益高の確保、作業効率化による更なる人件費等の経費削減により、セグメント利益(営業利益)は7千5百万円(前年同四半期は5千6百万円の損失)と増収増益の結果となり、収益力は引き続き改善しております。

#### ③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、大口OEM販売について、主に新規取引先との取引の本格始動および既存取引先からの受注増により、売上高は3億6千7百万円(前年同四半期比129.3%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、売上高の増加および配送の効率化など経費削減に取り組んだ結果、6千万円(前年同四半期比5,381.7%増)と増収増益の結果となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

## ① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、8億2千1百万円増加し、115億4千万円となりました。これは、現金及び預金が16億7千4百万円増加、商品が6億7千万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、2億1千9百万円減少し、67億7千7百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億2千9百万円、土地が5千3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、6億1百万円増加し、183億1千8百万円となりました。

## ② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、8千3百万円減少し、45億8千9百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が6千3百万円増加し、買掛金が7千5百万円、未払法人税等が1億7百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、7億1千3百万円増加し、88億7千4百万円となりました。これは、長期借入金が7億2千4百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、6億2千9百万円増加し、134億6千4百万円となりました。

## ③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、2千8百万円減少し、48億5千4百万円となりました。これは、利益剰余金が1億8百万円増加し、繰延ヘッジ損益が1億3千1百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント減少し26.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ2億7千3百万円増加し、30億8千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、9億5千9百万円(前年同四半期は2億6千3百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億3千3百万円の計上、たな卸資産の減少6億5千8百万円、仕入債務の減少7千2百万円、法人税等の支払額1億5千万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13億9千5百万円(前年同四半期は14億2千6百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出31億円、定期預金の払戻による収入17億円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、7億9百万円(前年同四半期は12億4千万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入21億円、長期借入金の返済による支出13億1千1百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成27年8月7日の決算短信にて発表しました平成28年3月期の業績予想を検討した結果、当該四半期において平成28年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,508,263	6,182,616
受取手形及び売掛金	1,107,620	1,106,430
商品	4,569,621	3,899,105
未着商品	78,674	90,702
貯蔵品	15,285	15,438
繰延税金資産	19,400	71,482
その他	436,271	192,084
貸倒引当金	△15,208	△16,899
流動資産合計	10,719,928	11,540,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,289,135	3,159,403
土地	3,210,953	3,157,566
その他(純額)	230,433	212,909
有形固定資産合計	6,730,522	6,529,878
無形固定資産	79,661	77,056
投資その他の資産	186,522	170,553
固定資産合計	6,996,706	6,777,489
資産合計	17,716,634	18,318,450
負債の部		
流動負債		
買掛金	893,153	817,743
1年内返済予定の長期借入金	2,486,209	2,550,039
未払法人税等	159,220	51,244
賞与引当金	140,314	146,879
役員賞与引当金	-	3,050
ポイント引当金	29,332	30,814
その他	964,662	989,392
流動負債合計	4,672,893	4,589,164
固定負債		
長期借入金	7,707,080	8,431,613
退職給付に係る負債	121,072	127,173
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	30,927	31,207
その他	288,581	271,291
固定負債合計	8,161,229	8,874,854
負債合計	12,834,123	13,464,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,179,286	3,287,755
自己株式	△151,003	△151,003
株主資本合計	4,627,725	4,736,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,446	15,277
繰延ヘッジ損益	210,675	79,628
為替換算調整勘定	22,663	23,332
その他の包括利益累計額合計	254,785	118,238
純資産合計	4,882,511	4,854,431
負債純資産合計	17,716,634	18,318,450



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,644,763	9,012,987
売上原価	4,939,100	5,186,926
売上総利益	3,705,662	3,826,060
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,051,575	1,125,899
貸倒引当金繰入額	2,784	10,214
ポイント引当金繰入額	18,843	26,044
給料手当及び賞与	935,240	898,826
賞与引当金繰入額	151,254	146,879
その他	1,378,355	1,303,333
販売費及び一般管理費合計	3,538,054	3,511,197
営業利益	167,608	314,863
営業外収益		
受取利息	3,342	3,498
受取配当金	1,264	1,144
為替差益	-	8,706
その他	14,362	15,845
営業外収益合計	18,969	29,194
営業外費用		
支払利息	60,158	56,685
為替差損	17,882	-
その他	28,031	13,169
営業外費用合計	106,072	69,855
経常利益	80,506	274,202
特別損失		
減損損失	-	40,770
特別損失合計	-	40,770
税金等調整前四半期純利益	80,506	233,432
法人税、住民税及び事業税	10,178	41,786
法人税等調整額	29,544	34,467
法人税等合計	39,722	76,254
四半期純利益	40,783	157,178
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,783	157,178

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	40,783	157,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,965	△6,169
繰延ヘッジ損益	57,803	△131,046
為替換算調整勘定	△3,263	668
その他の包括利益合計	59,505	△136,547
四半期包括利益	100,288	20,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,288	20,630
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	80,506	233,432
減価償却費	152,607	151,737
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,273	1,691
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,444	6,565
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,850	3,050
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△3,092	1,481
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,603	6,101
受取利息及び受取配当金	△4,606	△4,642
支払利息	60,158	56,685
為替差損益(△は益)	-	58
減損損失	-	40,770
売上債権の増減額(△は増加)	433,128	1,468
たな卸資産の増減額(△は増加)	△487,959	658,334
仕入債務の増減額(△は減少)	△186,575	△72,522
その他	3,833	78,096
小計	48,734	1,162,310
利息及び配当金の受取額	4,497	4,029
利息の支払額	△60,946	△56,886
法人税等の支払額	△255,426	△150,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	△263,141	959,053
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,100,600	△3,100,600
定期預金の払戻による収入	2,700,000	1,700,000
有形固定資産の取得による支出	△22,749	△69,331
有形固定資産の売却による収入	-	84,146
無形固定資産の取得による支出	△1,695	△7,602
投資有価証券の取得による支出	△1,734	△1,670
その他	-	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,426,778	△1,395,007
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,700,000	2,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,387,781	△1,311,637
配当金の支払額	△48,831	△48,498
その他	△23,148	△30,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,240,239	709,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,915	345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△451,596	273,753
現金及び現金同等物の期首残高	2,849,262	2,806,363
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,397,665	3,080,116

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,290,612	4,193,691	160,459	8,644,763	—	8,644,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,290,612	4,193,691	160,459	8,644,763	—	8,644,763
セグメント利益又は損失(△)	438,305	△56,464	1,108	382,948	△215,340	167,608

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△215,340千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,387,729	4,257,392	367,865	9,012,987	—	9,012,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,387,729	4,257,392	367,865	9,012,987	—	9,012,987
セグメント利益	382,201	75,218	60,763	518,184	△203,320	314,863

(注) 1 セグメント利益の調整額△203,320千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントに配分していない遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損いたしました。当該減損損失の計上額は、40,770千円です。